

●文京区のコミュニティゾーン形成事業のこと

平成19年からの3カ年、文京区白山・千石地区コミュニティゾーン形成事業計画づくりにかかった。業務は整備が必要な地区を探り、基本計画をつくり、具体的な区道3路線での交通社会実験と整備計画づくりを行うことである。このうちの1路線が整備されたと聞き、現場を見てきた。

整備されたのは区道816号（延長約280m、平均幅員7.0m、有効幅員1.3mの片側歩道）で、白山通りから千川通りへ抜ける一方通行路である。沿道は住工混在地区。通過車両が多いこと（2750台/12hの41%）、速度超過、違法駐車があり、自転車・歩行者と車の交通事故も多発するなど危険な路線となっていた。この路線について歩道拡幅、車道幅員の狭小化（3.0m）、減速効果のあるハンプ設置を提案し、現場はほぼそのとおりに整備が行われていた。

ハンプは硬質ゴム製。縦断はサイン・コサインカーブとなっていて振動や騒音低減への配慮がなされている。高さは10センチ程度で自転車の走行にも支障はない。仮設タイプで耐久性が課題と思われるが、現場のアスファルト舗装工事では微妙な施工が難しいということだろう。ハンプの設置位置は、沿道の車の出入りがないところ、周辺住民の合意を得られるところ、そしてマンホールのないところ、が条件。

この種の公共事業は安価で短期に整備でき、かつ整備効果の高い良質のものと思うし、コミュニティゾーン内の交通安全性を高める施策としてもっと普及してよい。ただし、業務内容は調整、打ち合わせの連続で覚悟が必要である。

(写真) <http://www.almec.co.jp/info/news4.html>

桑沢 秀美（都市計画プランナー）

●ジョグジャカルタ世界遺産ウォーキング

インドネシアの古都ジョグジャカルタ周辺には2つの世界遺産、ポロブドゥール寺院遺跡群とプランバナン寺院群がある。先月、この遺跡群を歩いて回るウォーキングの世界大会があると聞いて参加してきた。

そもそもウォーキング大会とは、順位を競うものではなく、歩くことを通して健康増進、人との交流、自然を楽しむという目的で行われるもので、会期は2日以上、距離は1日で5～20km、国際大会では30～40kmを歩くものもある。参加賞としてのスタンプや達成した距離を協会に申請すると、それに応じて表彰してもらえるのだ。今年はその国際大会認定の審査が行われる年であり、参加者の数や外国からの参加、コース設定そのものの魅力はもちろん、トイレやゴミ箱・休憩所などの設置、警備やボランティアの実施体制、そして地元の協力が審査基準になるという。

さて、今回の大会はどうだったであろうか。まずはコース。プランバナンの遺跡広場を起点に周辺に点在する遺跡群を周りつつ、民家の軒先や田んぼを通る1日目のコースと、王様のお墓のある川沿いの河岸段丘を往復する2日目のコースと、平坦な道ながら地元の人々の日常生活やそれにとけ込む遺跡群を見られるよう工夫されたコースであった。さらに、施設の設置場所や表示の仕方は工夫がいるが、多くのボランティアと周辺住民の笑顔の応援が参加者の励みにもなり、大会を盛り上げていた。ただし、参加者数は公称1000人だが、実際は地元の学生や婦人会の参加が多く、外国人は100人にも満たなかったと思われる。

世界遺産の観光活用の一例として、地元が盛り上がり歓迎しようという心と、また来ようと思える人との出会い、地元の人、海外からの参加者との繋がりが今後この大会を大きくしていってくれと感じた。

酒井 夕子（海外室）

●復興交付金と津波復興拠点整備事業等

12月7日に東日本大震災特別区域法、津波防災地域づくり法が制定された。これらの法にもとづき、復興交付金や各種事業により被災地の復興が進められることとなる。

市街地整備については、防災集団移転促進事業、都市再生土地地区画整理事業に加えて、新設された津波復興拠点整備事業の活用が想定される。

復興交付金や津波復興拠点整備事業の活用に関しては、国の情報に加えて、NPO法人日本都市計画家協会が整理した「復興特区制度活用ガイド」で整理されているので、参考にされたい。

<http://jsurp.net/fukkou/seidoguide111210ver1-1.pdf>

また、復興交付金は、これまで活用されてきた社会資本整備総合交付金と同様に、効果促進事業の制度が設けられている。そこで、復興においても基幹事業に加えて、地域が工夫して効果促進事業を活用することが望まれる。

さらには、今月から内閣官房地域活性化統合本部の専門家派遣制度がスタートした。自治体のからの推薦で、各種の専門家の派遣について交通費、旅費、謝金（日当）が支給される。予算総額は4.1億円、あと3ヶ月強の期間であるので、被災地で活動されている専門家の方々が有効に活用されることが望まれる。

内山 征（第二計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2011 ALMEC Corporation. All rights reserved.